

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
保健医療福祉人材育成論	2単位 30 時間( コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 通年開講	☑・不可
科目責任者	吉池 信男		
担当者	吉池 信男、浅田 豊、廣森 直子 (非常勤・大阪信愛学院大学)		
1. 科目のねらい・目標			
<p>【ねらい】地域包括ケア等を推進するために必要な、ケアの提供者・コミュニティの構成員・ケアの受け手に対する「教育」の基本的考え方、手法、並びに研究方法論を修得することを目標とします。そのために、これらの対象者を想定した教育について、教育原理、手法、評価、研究に関して、実際の研究例（論文）に基づき、講義を進めます。また、ウィズコロナ下での新しい手法による教育についても考えていきます。</p> <p>【目標】教育に関わる基礎理論を踏まえて、住民、専門職（学生を含む）等に対する効果的な教育的アプローチを考案できるようになる。</p>			
2. 授業計画・内容			
<p>Part I 【浅田 豊】(1)～(7) ※遠隔と対面の併用を基本とする ケアの提供者・コミュニティの構成員・ケアの受け手に対する「教育」という範疇において有効な基礎理論について考察します。即ち適宜演習・発表（ポスター型プレゼン可）を含む形で教育原理（(1)～(3)）や教育方法論（(4)～(5)）について解説した上で（オンライン化に対応したインストラクショナル・デザインを含む）、当該分野の研究手法・成果を紹介し考察を展開します（(6)～(7)）。</p>			
<p>Part II 【廣森 直子】(8)～(11) ※完全オンライン 地域包括ケア等の推進のための住民のエンパワメント（集団・個人）について、社会教育（または成人教育）としてのアプローチから基本的考え方、手法、研究方法論について検討します。履修生の研究テーマに関連した文献発表にもとづくディスカッションを予定しています。</p>			
<p>Part III 【吉池信男】(12)～(15) ※完全オンライン及びWebex のスペース利用による学習 地域包括ケアを推進していくために必須となる保健医療福祉専門職を主な対象とした、多職種連携に必要なコンピテンシーに関して、関連研修の内容や方法、および研究を紹介しながら解説を行います。また、ICTを活用した新しいコミュニケーションチャネルを介した教育手法について、受講生同士で体験しながら理解とスキルを深めて行きます。</p>			
3. 教科書、参考書			
各教員がテキストを指定するか、資料を配布する。			
4. 成績評価方法			
プレゼンテーション（70%）、レポート（30%）などを勘案して、総合的に評価します。			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
土日開講を基本とします。双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型授業、Webex のスペースを活用しての双方向型学習を予定しています。必要に応じて、オンデマンドでの後日受講も可とします。			
7. その他			